

# 市政方針と予算



## 市民の安全・安心と 将来を見据えたまちづくり！

予算総額 903億2,200万円

一般会計 501億円  
特別会計 213億6,600万円  
企業会計 188億5,600万円

### はじめに

昨年は、42年ぶりの豪雪に9月の局地的豪雨による水害と、大きな自然災害に見舞われ、市民生活に大きな影響が及んだ年でした。

改めて、市民生活の安全・安心の確保への着実な取組みの必要性と防災・減災対策の重要性を痛感しています。

また、ここ数年、急激な人口減少が続いています。将来人口推計によると、平成47(2035)年、今から22年後の本市の人口は6万5千370人に減少し、高齢化率は39.9%との大変厳しい見通しが示され、今まさに本市は大きな転換期を迎えています。

私は、このようなときだからこそ元気を出して前向きに10年先、20年先を見据えて、市民の皆さまに、岩見沢に住んでいて良かった」と実感していただけるまちづくりを進めてまいります。

また、本年は、開基130年・市制施行70周年という節目を迎えます。この記念の年を市民の皆さまとともに祝い、記念事業やばらサミットの開催を契機に、ふるさと意識を高め、地域の活性化に繋げてまいりたいと考えています。

### 市政運営の基本姿勢

私は、これまで多くの方々から様々なご意見を真摯にお聴きしながら、岩見沢のまちの現状や課題の具体的な把握に努めてまいりました。

市政運営の基本は、「市民の皆さまとの信頼」です。言つまでもなく市役所とは、市民のための仕事をして、市民役に立つ所でない限りなりません。

そのためにも、市役所を改革し、常に市民の立場に立ったまちづくりを進め、市民本位の市政、開かれた市政の実現を目指してまいります。

また、厳しい財政環境の中で、多様化・高度化する市民ニーズに的確に対応するためには、職員の高め、説明責任を果たしていかねばなりません。

私は、市役所をサービス業と位置付け、行政サービスに対する市民の満足度を高めることを基軸として、施策の質・量・スピードを高め、安全で安心な市民生活の質的向上と地域の活性化を図るための取組みを着実に実施し、次の世代に誇りを持って引き継いでいくことができるまちづくりに取り組んでまいります。

新年度は、下記の4点を優先課題として、重点的に取り組む分野に位置付け、市政を運営してまいります。

## ◆ 平成25年度予算の重点分野 ◆

市民とともに 築くまちづくり	地域経済の 活性化	子ども・子育て の支援	安全・安心の推進
職員意識改革と 能力開発 市民と行政の 連携・協働	農林業の振興 商業・観光の振興 新産業の創出と雇用の確保	子ども・子育ての支援 教育の充実と 生涯学習の推進 芸術文化・スポーツの 振興	安全・安心な体制の 確立 環境の保全と 衛生対策 快適な市民生活の 基盤整備 健康・福祉の推進
意識改革と能力開発、 組織体制の整備	農業の持続的な発展 活力ある商業の形成、 賑わいのある中心市街地 の創出、魅力ある観光の 展開 新産業の創出と雇用の確保	子育て支援体制の充実、 児童の健全育成、療育体 制の充実 充実した教育環境の整備、 生涯学習の推進 スポーツ環境の充実	防災対策の強化、雪対策の 推進、安全・安心な生 活環境の確保 循環型社会の形成推進、 環境衛生対策の推進、 緑豊かな環境の整備 住宅・住環境の整備 健康づくりの推進、 高齢者施策の推進

市民が安全・安心を実感でき、未来を担う子どもたちが希望を持ち、輝く、10年先、20年先を見据えた岩見沢のまちづくり

# 子ども・子育ての支援



新たに、不妊治療費助成事業、産前産後ヘルパー事業、ブックスタート事業を実施するなど、生まれる前からの切れ目のない子育て支援の充実により、安心して妊娠、出産、育児が出来る環境を整えるとともに、障がいのある子への気づきと支援体制の拡充により、早期療育体制の強化を図ります。また、市民が芸術文化・スポーツに親しむことのできる環境づくりを進めます。

## 子ども・子育ての支援

### 《子育て支援体制の充実》

- ▶不妊治療費助成事業【1,000万円】  
体外受精や人工授精などの不妊治療費の一部を助成
- ▶産前産後ヘルパー事業【676万円】  
産前産後の身体的・精神的負担の軽減を図るため、妊娠届時から出産後1年以内の家庭にヘルパーを派遣
- ▶ブックスタート事業【200万円】  
絵本を通して親子の心が触れ合うきっかけづくりを手助け
- ▷母子保健推進事業【5,496万円】
- ▷乳幼児等医療助成事業【2億2,254万円】
- ▶次世代育成支援事業【2,735万円】  
子育て相談、療育相談など、子育て支援を推進。総合的な子育て支援体制強化のため、施設配置のあり方等の調査研究を実施
- ▷保育所入所運営事業【10億2,760万円】
- ▷幼稚園就園特例奨励事業【900万円】

### 《児童の健全育成》

- ▶留守家庭児童対策事業【5,076万円】  
放課後、保護者が不在の児童を支援。土曜日の開館時間を拡大

### 《療育体制の充実》

- ▶児童療育事業【488万円】  
療育や発達の遅れなどに関する相談や支援の充実

- ▶特別支援教育推進事業【2,984万円】  
特別支援学級等に在籍する児童生徒への教育的支援を推進。特別支援教育支援員の増員

## 教育の充実と生涯学習の推進

### 《充実した教育環境の整備》

- ▷第一小学校校舎等改築事業【14億7,046万円】
- ▶志文小学校校舎等改築事業【1億4,488万円】
- ▶教育指導振興事業【724万円】  
いじめ問題に係わる取組みをスクールカウンセラーなどを交えて検証。学校支援ボランティアの派遣を通じて教育活動を支援
- ▶学校給食共同調理所運営事業【5億5,755万円】  
新調理所の建設に向けた基本計画を策定

### 《生涯学習の推進》

- ▶市民の学び支援事業【989万円】  
市民に多様な生涯学習の機会を提供

## 芸術文化・スポーツの振興

### 《スポーツ環境の充実》

- ▶教育大学岩見沢校体育研究施設整備補助事業【1億円】  
教育大学岩見沢校の体育研究施設整備への補助を通じて、地域スポーツ活動との連携を推進

▶：新規・拡充事業 ▷：継続事業

# 安全・安心の推進



市民の快適で安心して暮らせる生活環境を支えるため、洪水や地震などに対する防災対策や雪対策の充実・強化を図るとともに、ごみ処理三原則を基本とするごみの減量・再資源化の推進による循環型社会の形成、市民生活に欠かせない生活道路の計画的整備などを推進します。また、市民の健康づくりを支援するとともに、健康で安心して暮らせる取り組みを進めます。

## 安全・安心な体制の確立

### 《防災対策の強化》

- ▶防災対策事業【3,292万円】  
はん濫の恐れのある中小河川のハザードマップを作成。避難所における非常時用備蓄品、資機材整備の充実
- ▶緊急告知F M放送整備事業【2,400万円】  
緊急情報を迅速・確実に伝達するため、コミュニティF M放送を活用したシステムの導入
- ▷災害応急対策事業【1億円】

### 《雪対策の推進》

- ▶除排雪事業【9億8,538万円】  
大型・小型ロータリー車を各2台購入し、迅速かつ機動的な除排雪体制の強化
- ▶地域除排雪活動支援事業【1,806万円】  
社会福祉協議会と連携し、町会による高齢者世帯等の通路確保の実施。高齢者世帯等への屋根の雪下ろし費用の助成

### 《安全・安心な生活環境の確保》

- ▶地域情報化推進事業【5,570万円】  
児童見守りシステムの対象児童を拡充

## 環境の保全と衛生対策

### 《循環型社会の形成推進》

- ▶ごみ減量化推進事業【1億4,622万円】  
中心市街地に生ごみ処理・資源物回収の拠点施設を設置
- ▶ごみ処理対策事業【7億7,564万円】  
大型ごみの戸別収集

- ▷新ごみ処分場建設事業【47億円】

### 《環境衛生対策の推進》

- ▷墓地霊園管理造成事業【2億6,990万円】

### 《緑豊かな環境の整備》

- ▷大正池整備事業【2,755万円】
- ▷公園造成事業【2億3,883万円】

## 快適な市民生活の基盤整備

### 《住宅・住環境の整備》

- ▷道路新設改良事業【20億3,060万円】
- ▶街路事業【4億675万円】  
西20丁目通街路と駅前1西6街区の整備を行うための、物件補償や物件等の調査などを実施
- ▶市営住宅建設事業【2億3,128万円】  
北5条団地の建て替え。元町団地を改修
- ▷あんしん住まいづくり助成事業【1億70万円】

## 健康・福祉の推進

### 《健康づくりの推進》

- ▷市民健康づくり推進事業【404万円】
- ▷成人検診推進事業【5,699万円】

### 《高齢者施策の推進》

- ▷介護サービス利用者負担軽減事業【1,376万円】

▶：新規・拡充事業 ▷：継続事業

# 市民とともに 築くまちづくり



市民生活のニーズや課題に対応するため、積極的な市民参加を促し、地域や団体の主体的な取組みを支援するとともに、地域の課題などの把握に努め、意見や提案などに迅速に対応し、市政へ反映する組織体制を整備します。

## 市民と行政の連携・協働

《市民と行政の連携・協働》

- ▷市民参画・協働のまちづくり推進事業【2,528万円】
- ▷男女共同参画社会推進事業【188万円】
- ▶ばらのまちづくり推進事業【922万円】  
ばらサミットの開催
- ▶開基130年・市制施行70周年記念事業【500万円】  
記念式典を中心とした記念事業の実施
- ▷広報活動事業【4,145万円】
- ▶市民の学び支援事業(再掲)【989万円】  
市民に多様な生涯学習の機会を提供

## 職員の意識改革と能力開発

《意識改革と能力開発》

- ▷職員研修事業【648万円】
- 《組織体制の整備》
- ▷組織体制の整備  
地域の課題、意見や提案などに迅速に対応し、市政へ反映させる組織体制を整備

▶：新規・拡充事業 ▷：継続事業

平成25年度の予算は、「選択と集中」の視点に立ち、事業目的別予算編成の手法により、必要な事務事業の新設、既存事務事業の見直しや再構築を行い、効果的な施策を推進する上での集中的な予算配分を行いました。

その結果、一般会計の総額は、501億円、特別会計と企業会計を合わせた全会計の総額は903億2千200万円となりました。

一般会計では、前年度予算額と比較して、3.3%の増となり、国の地方財政計画における一般的な地方財政規模が0.1%の増とされる中で、地方財政計画を大きく上回る積極的な予算を編成することができたと考えております。

地方交付税の大幅な減額が見込まれる厳しい財政環境の中、財政調整基金から7億円の繰り入れを予定いたしました。また、持続可能な自立した行財政基盤の確立に十分留意するとともに、重点的に取り組む分野として位置づけた施策をはじめ、各種施策全般にわたって積極的に取り組んでまいります。

なお、市政運営に当たりましては、最少の経費で最大の効果を挙げるといって、地方自治の本旨に沿って、効率的かつ効果的な予算の執行に努めてまいります。

問合せ 市企画室

# 地域経済の活性化



基幹産業である農業の振興を図るため、ICTを活用した次世代型気象情報システムの運用や札幌圏での常設アンテナショップ設置の検討など、岩見沢産農産物のPRや流通拡大を推進するとともに、中心市街地の賑わいの創出、地域の育成や雇用の創出など、地域産業・経済の活性化を図ります。また、特色のある地域の観光資源を活かす取り組みを進めます。

## 農林業の振興

《農業の持続的な発展》

- ▷担い手・農業法人等育成支援事業【4,624万円】
- ▶地域情報化推進事業【5,570万円】  
次世代型気象情報による予測システムの活用。トラクター走行ガイダンス等GPS活用による効用検証
- ▶地産地消等所得向上対策事業【1,310万円】  
地場農産物のブランド化に向けた取り組み。札幌圏での常設アンテナショップの設置検討
- ▶鳥獣対策事業【1,091万円】  
有害鳥獣の捕獲・駆除対策の実施。エゾシ

カ侵入防護柵の市の独自支援

## 商工業・観光の振興

《活力ある商工業の形成》

- ▷商工金融円滑化事業【7億4,944万円】
- 《賑わいのある中心市街地の創出》
- ▶中心市街地活性化対策事業【9,051万円】  
次期中心市街地活性化基本計画の作成。街なか居住と商店街の魅力向上を重点的に推進。後継者育成、起業支援の取り組みを推進

《魅力ある観光の展開》

- ▶観光振興事業【3,899万円】  
各種イベント等に補助。特色ある地域の観光資源の活用

## 新産業の創出と雇用の確保

《新産業の創出と雇用の確保》

- ▷新産業創出促進事業【1億2,014万円】
- ▷企業立地推進事業【792万円】
- ▷雇用促進事業【5,527万円】



ふるさと百餅祭り

▶：新規・拡充事業 ▷：継続事業